

講義名称	文学	担当教員名	渡邊 淳子
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	文学	単 位	2
対象学年次	1 年・春学期	ナンバリング	HUM142

授業のキーワード	近代日本文学の生成、近代的自我
授業の概要	日本の近代文学の生成、展開を、特に明治から大正期の小説に焦点を当てて検討していきます。
期待される学習成果（目標）	1 西欧の近代的文学手法による新しい日本の近代小説の展開を学ぶことが出来ます。 2 文学の本質とは何かということに向き合うことが出来ます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	導入	半年間の授業の紹介と参考文献の紹介、受講上の注意の説明等を行います。
2	明治維新と時代の変化	明治維新の国策が、文化、特に文学に及ぼした影響について解説します。
3	第2構の続き	日本の近代文学の生成展開を見ていきます。
4	近代小説と「自我」―夏目漱石①	『三四郎』のストレイシープについて考えます。
5	近代小説と「自我」―夏目漱石②	『行人』の一郎を通して明治のインテリゲンチアの苦悩を考えていきます。
6	近代小説と「自我」―夏目漱石③	『こころ』を通して孤独について考えます。
7	近代小説と「自我」―志賀直哉	『暗夜行路』の主人公時任謙作の苦悩について考察します。
8	近代小説と「自我」―太宰治①	『トカトントン』に描かれる虚無について考えます。
9	近代小説と「自我」―太宰治②	『人間失格』の主人公大庭葉蔵の虚無、デカダンス、道化について考えます。
10	近代小説と「自我」―梶井基次郎	『檸檬』が自我意識をどのようにえがきだしたか見ていきます。
11	近代小説と「自我」―中島敦	『山月記』を通して焦燥感と心の闇について見ていきます。
12	まとめ①	近代小説が「自我」をいかに描き出してきたかまとめます。
13	まとめ②	近代文学の生成とその特色について考察します。
14	文学とは何か	文学とは人間にとっていかなる意味があるのか討議します。
15	文学展望	今後、文学はどのように展開していくか、討議します。

定期試験	レポート試験
授業時間外学習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	レポート評価 70 %、授業貢献度 30 %
使用する教科書（必ず購入してください）	特に指定せず、毎回資料を配布します。
参考文献	・石原千秋『漱石はどう読まれてきたか』 新潮選書 ・新井均『志賀直哉論』教育出版センター